学校だより

和歌山市立四箇郷小学校

平成３０（２０１８）年度：№５０

１月号№２　文責／校長：上田　仁

昭和も平成も、そして○○も

なつかしい講堂

昭和42年修学旅行

給食室

昭和42年職員

ＴＶでは「平成」が終わるにあたり，この時代の現象・事象，話題や事件を特集する番組を目にするようになりました。生活する上では時代の名前が変わっても特に変化することはありませんが，世間はどうしてもひとくくりにしたいようで，長いこの時代を短い時間にまとめて放送しています。

実は皆さんも同じではないでしょうか。平成の出来事とその頃の自分のことをリンクさせながら，ふと遠くを見つめていることが…。自分の場合は歳を重ねているだけに，「あれはそんなに昔だったっけ」と思うことばかりです。

41年度入学児童

さて，昭和も平成もしっかり生きてきた私から見て，学校に関係することでずっと変わらないことなどをつらつらとご紹介。（注：さすがに昭和の時代は１９６０年代からですが）

金管バンド

⑦黒板

これは不動の地位を築いています。昭和どころか大正や明治までさかのぼりますから。これだけ科学・技術が発達しても何ら変わりなく（そりゃあ少しぐらい変わっているかも。知らないだけで），教室の前にドン！と鎮座しているのですから。ちなみに黒板を消す道具の正式名は，「黒板消し」でいいのでしょうか？

41年交通安全活動

世相

昭和60	科学万博つくば85開催
昭和61	鳴門大橋開通（全長１９６２ｍ）
	チェルノブイリの原発事故発生
	●ごみ焼却処理施設「青岸エネルギーセンター」完成
昭和62	国鉄民営化（ＪＲ７社発足）
	利根川進氏ノーベル医学生理学賞
昭和63	本州―四国を結ぶ瀬戸大橋開通
	ソウルオリンピック大会
平成元	昭和天皇崩御
	平成と改元
	消費税スタート（３％）
	●和歌山市が市制百年を迎える
平成２	統一ドイツ誕生
平成３	中東湾岸戦争が起こる

②ランドセル

語源はオランダ語。布製のリュックのようなものを指定している小学校もあるようですが，これも昔から変わりません。ゆえにシーズンになればお店にしっかりと並んでいます。但し，サイズがかわって（大きくなって）います。プリント類がＢ５サイズからＡ４中心になったためです。

③ラジオ体操

なくなった地域も多いようですね。四箇郷では日数は減っていますが続いています。一昔前は，半ば強制で参加していましたが，今は自由参加が増えていると聞きます。朝が涼しい夏は，いったいどこへ行ったんでしょうね。

④鉛筆

ＴＶ（チ○ちゃんに…）で観ましたが，六角形にはちゃんと意味があるそうです。「Ｈ」はＨａｒｄで「Ｂ」はＢｌａｃｋ。最近は２Ｈを使う子供は少ないとのこと。

⑤理科室の蛇口についている透明のパイプ

子供に聞いたら，水が飛び散らないようにとか，実験中に燃え移った火を消すためとか言いますが，実は他に理由があるようです。一度調べてみてはどうでしょう。

最後に…　いつの時代でも最も変わらないこと，一番変わってほしくないこと，それは子供たちが楽しく学校に来ることではないでしょうか。皆さんはどうでしたか？

（※写真は本校の創立１００周年記念誌より）